

2022 長野大会

第二分科会Ⅰ 『善光寺門前町の再生』 実施要項

1. 趣旨

建築士とは、建物をつくる仕事であり、その建物は住居や職場、公共施設など多岐にわたり、地域の人々に大きな影響を与えます。その為、我々建築士は地域と密接な関わりを持ち、地域の発展に貢献する「建地区士」でなければなりません。

第二分科会Ⅰでは、建物のリノベーションから地域を巻き込み、再生へとつながった事例を紹介します。

地方創生になどによって地方が注目されはじめ、昨今コロナによって移住が加速し、さらにSDGsの考え方や、高性能な建物の普及が進めば、空き家の活用、住宅ストックの活用は、当たり前前の時代になってくると思います。

このような時代に、「建地区士」として、地域のために何ができるのか、「すく」を出すきっかけになればと考えます。

2. タイムスケジュール

日時：令和4年6月18日（土）13：30～15：00

時間	内容	備考
13:30～13:32	司会挨拶・説明	
13:32～13:35	講師紹介	
13:35～14:35	講演	
14:35～14:59	質疑応答	
14:59～15:00	閉会・次への説明	

3. 講演内容

長野市の善光寺門前町界隈は、10年前までは古い空き家が多くあり、人気も薄れていました。そんな善光寺門前町が今や全国有数のレトロでおしゃれな街へと変貌を遂げています。その『再生』の発端でもある倉石智典氏をお招きし、善光寺門前町の再生についてと、ご自身のリノベーション物件について、新しいことへの取り組みなど、画像を見ながらお話ししていただきます。

また、人と建物の仲介を仕事とする面白さや、どのようなことを考えて人に建物を紹介しているのか、空き家紹介の事例もご紹介いただきます。そこからまちづくりへの繋がりなど、倉石氏の考え方もお話ししていただきます。

4. 講師プロフィール

倉石 智典 氏 株式会社MYROOM 代表取締役
1973年長野県長野市生まれ。SFC 総合政策学部卒業。

観光業、都市計画業、不動産業、建築業を経て、2010年に現在の会社を設立。空き家の仲介、リノベーションを専門とする。長野では「門前暮らしのすすめ」と題して、毎月「空き家見学会」を開催。県内外から参加者が訪れ、まちあるきをしながら「空き家」を案内。まちなかの空き家を「リノベーション」して、新しい利用者とマッチングし、まちに賑わいをつくっている。

